

Japan
Food
Research
Laboratories

第 10022420001-01 号
2010年(平成22年)03月26日

試験報告書

依頼者 sasamic

財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木4-52番1号



検体 スーパーミチタン

表題 脱臭効果試験

2010年(平成22年)03月11日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

脱臭効果試験

1 依頼者
sasamic

2 検 体
スーパーミチタン
なお、依頼者から「加湿器」が提供された。

3 試験概要
検体の0.3 %水溶液を加湿器に入れたものについてアンモニアの脱臭効果をガス検知管により試験した。

4 試験結果
試験結果を表-1及び図-1に示した。

表-1 アンモニアの試験結果

(単位：ppm)

試料区分	経過時間 (min)					
	0	10	30	60	120	180
加湿器(作動)	30	25	17	10	4	2
加湿器本体のみ	30	30	29	27	25	25
空試験	30	30	29	28	27	26

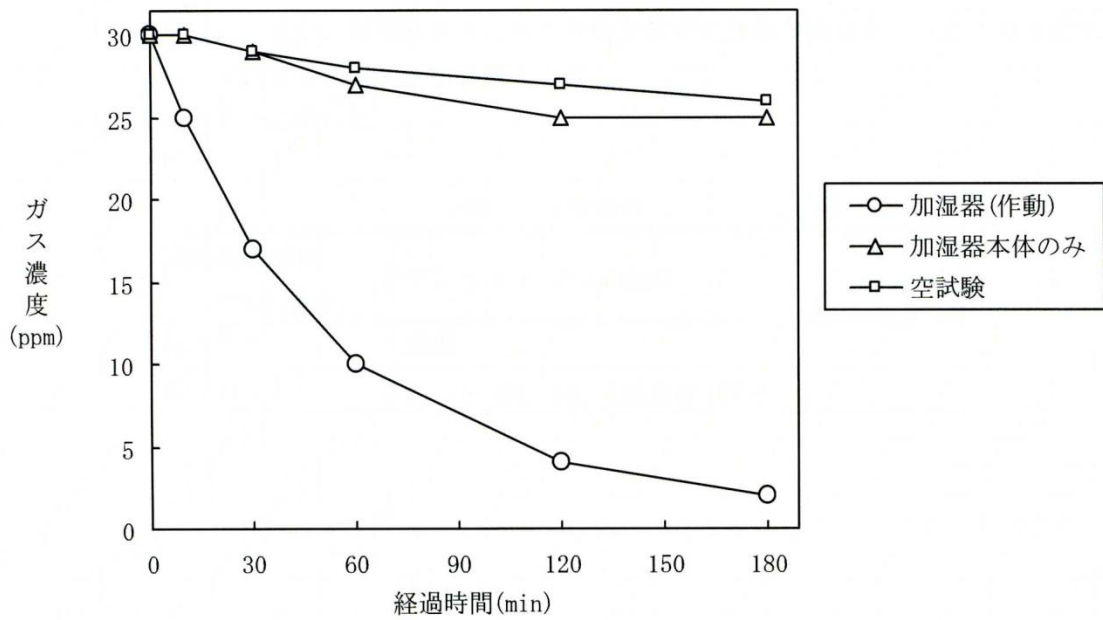


図-1 アンモニアの試験結果

5 試験方法

1) 試薬及び器具

デシケーター(約1 m³)

アンモニア：アンモニア水(28 %，特級)[小宗化学薬品株式会社]から発生させたガスを用いた。

ガス検知管[株式会社 ガステック]

2) 操作

検体9 gを水道水(東京都多摩市)3 Lに溶解し(0.3 %水溶液)，加湿器に入れた。加湿器をデシケーター(約1 m³)に入れ，設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。加湿器を作動(加湿量ミニマム)させ，経過時間ごとにデシケーター内のガス濃度をガス検知管で測定した。また，加湿器本体のみを作動させずに同様な操作を行った。加湿器を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。

試験条件を表-2に示した。

表-2 試験条件

試験対象ガス (初期ガス濃度)	アンモニア(約30 ppm)
温度条件	室温
測定時間	0, 10, 30, 60, 120及び180分

以 上